



志楽小学校だより

舞鶴市立志楽小学校
令和2年度学校だより
第5号
令和2年7月30日発行

多くの方々に「包み込まれて」1学期が終了。3週間の夏休みを有意義に！



長かった梅雨もようやく明け、校門横のひまわりも、太陽に向かって背伸びをしているようです。

新型コロナウイルス感染症拡大の中、始まった1学期。臨時休校で保護者の皆様には本当にお世話になった1か月。そして、子どもたちが元気に学校に戻ってきてから2か月余りが経ち、本日、1学期終業式を迎えることができました。いつもなら夏休みに入っている7月下旬も、子どもたちは学習に、遊びに、それぞれの役割に、全力で取り組んでいました。

1学期の間、保護者の皆様には、日々の体調管理、マスクの準備、手洗いの徹底や3密を避ける行動など、子どもたちが学校に元気に通えるよう心を配っていただきました。特に1年生は、まだ学校に慣れないうちに休校になり、休校中の生活はもちろんのこと、再開後も何かと揺れ動いてしまう子どもたちに温かく寄り添っていただきました。おかげで、学校では友達や先生と明るく学習に取り組み、元気に遊び、育てているアサガオのように多くの笑顔の花を咲かせていました。ありがとうございました。

ダイヤモンドパトロール隊の皆様にも、毎日マスクを着用いただきながら、登下校を見守っていただきました。「〇年生の子が途中で止まってしまって、歩き出しにくいようなのだけど。」と学校にお電話いただいたことも一度や二度ではありません。また、2年生や3年生の校区探検も安全に見守っていただきました。ありがとうございました。

先日は、地域の方が、安岡や田園町方面の児童が通る志楽川の堤防の道や堤防に上がる階段の草刈りをしてくださいました。子どもたちの背丈に迫るような草が生えてしていましたので、温かいお気遣いをいただき、本当に助かりました。ありがとうございました。

また、吉坂の「福村建設株式会社」様から、「扇風機、ファイル保管箱、デジタルカメラ」をご寄贈いただきました。大切に使用させていただきます。誠にありがとうございました。



コロナ禍においても、より多くの方にご支援やご協力をいただき、毎日「包み込まれて」学校生活を送ることができていますことに、感謝申し上げます。ありがとうございます。



6月終わりから7月にかけて、人権旬間として取り組みました。

児童会が中心に取り組んだ「あつまれ!! 太陽キラキラ運動」では、子どもたちが、心温まる場面を見つけてはカードに書き込み、「遊びに誘ってくれてありがとう」「大丈夫って、声をかけてくれてありがとう」など、各教室の模造紙が「ありがとう」でいっぱいになっていました。4年生は、国語の学習でお礼の手紙の書き方を学び、学んだことを使って、それぞれがこれまでお世話になった方に手紙を書きました。2年生は道徳の学習で「ありがとう」を伝えることについて話し合い、普段お世話になっている人のことを考えました。

どの教室でも「自分のこと、友達のことを大切にする」ことについて話し合い、命の大切さについて考え、多くの人に包み込まれて生きていることを学びました。

明日から、夏休みが始まります。3週間と短いですが、事故のない子どもたちにとって健康で、意義のあるものとなりますようご支援をよろしくお願いいたします。



校長 小森 昌子
教職員 一同